

# 定期総会開かれる

# 三羽牛化学

(題字は稲川先生)

第9号  
昭和53年8月31日発行  
三羽牛化学会  
津市上浜町1515  
三重大学農学部内  
三重化学科  
振替名古屋59345  
電話津(0592)32-1211  
印刷(株)ある

## 三重県外で初の総会

### 評議員2名、新たに追加

昭和五十三年度三翠化学会定期総会は、五月二十一日(日曜)午前十時三十分から名古屋西區の全通名古屋会館で開催された。総会が三重県外で開催されるのは今回が初めてであったが、当日は快晴となり、約五十名の会員諸氏が各地から参集された。しかし、今回は残念ながら恩師の先生のお顔を拝見することはできなかった。



各地から50名が参集した定期総会

議題が審議された。(一)昭和五十三年度事業報告、(二)昭和五十三年度会計報告、(三)昭和五十三年度事業計画、(四)昭和五十三年度予算案はいずれも別表のように承認された。(五)評議員の追加は、新たに二十六回として吉岡幸一氏、大学院として駒田洋氏(院十回修了)がそれぞれ承認された。(六)基金制度は、本会報に別掲のような基金制度を設立することが承認された。以上の総会に続いて、鈴木一夫氏(三重高農・農学科昭和十五年卒、元中日新聞論説委員)の「現在のマスコミの当面する問題」と題する講演が行なわれた。ロッキード問題なども例にとり、素人にもわかりやすく話され、全員が熱心に聞き入っていた。

#### 昭和52年度三翠化学会事業報告

昭和52年 5月22日	総会
6月30日	役員会
7月19日	役員、評議員会(第1回)
8月31日	会報第7号発行
12月2日	役員、評議員会(第2回)
12月上旬	名簿発行
昭和53年 3月13日	役員、評議員会(第3回)
3月中旬	東海支部設立準備会

#### 昭和52年度三翠化学会決算報告

項目	金額(円)
収入の部	
前年度繰越	119,919
会費	403,000
雑収入	39,383
計	562,302
支出の部	
会報印刷費	110,000
郵送通信費	102,050
会議費	85,035
事務費	29,122
こうより補助金	30,000
支部設立補助金	20,000
予備費	96,935
計	473,142
差引残高(次年度繰越)	89,160

#### 昭和53年度三翠化学会事業計画

昭和53年 4月2日	東海支部設立、第1回総会
5月1日	会報第8号発行
5月15日	役員、評議員会(第1回)
5月21日	総会
7月	役員、評議員会(第2回)
8月31日	会報第9号発行
11月	役員、評議員会(第3回)
昭和54年 1月	会報第10号発行
3月	役員、評議員会(第4回、役員改選)

#### 昭和53年度三翠化学会予算

項目	金額(円)
収入の部	
前年度繰越	89,160
会費	650,000
雑収入	30,000
計	769,160
支出の部	
会報印刷費	350,000
郵送通信費	200,000
会議費	100,000
事務費	50,000
こうより補助金	30,000
支部設立補助金	20,000
予備費	19,160
計	769,160

## 三十周年記念

### 基金募集について

三重大学農学部農芸化学科は、明年、大学設置三十周年を迎えることとなります。現在の農芸化学科の第一歩は三十余年前、すなわち昭和二十一年三重農林専門学校に農産製造科の新設である。その三年後には第一回生が巣立ちました。同年学制改革により三重大学農学部の一学科になりました。従って農産製造科の卒業生は三回を数えるのみで大学へ移行した訳になります。以来、来春には大学二十七回生が卒業することになり、数にして九百名を越えるはずで

あります。この間昭和四十一年には大学院修士課程が設置され、明春十二回目の修了者が出ます。さて前述のように、三重農林の第四番目の学科として設置された農産製造科は農学部農芸化学科に引き継がれておりますが、この同窓会は遅ればせながら五年前に三翠化学会として発足致しました。以来その活動につきましては、会報「三翠化学」を通じて皆様にお伝えして参りましたが、現会長および前会長をはじめ多くの同窓生は、平日頃三翠化学会の活動は如何にある

べきか、如何にして発展すべきかにつき真剣に考えられております。また役員会評議員会においてもいつも議題として取り上げられ、熱心に討論されてきました。このような背景のもとに三十年を一つの区切りとして何らかの事業をおこなうのではないかと、この機会を高まっております。これを受けて昨年七月頃より役員および評議員の中からこの件に関する委員会を設け、十数回の会合をもち検討して参りました。この結果、趣意書(同封別

紙)のように三十年を記念し、三翠化学会の組織強化と在学生への啓蒙を二本の柱とした事業を行う計画を立て、役員・評議員会および五十三年度総会に付議し、慎重に審議討論をしていただきました結果、いずれも全一致で可決されました。以上がその経過の概要であり、役員諸氏にはどうか意のあるところを十分お聞き取りいただき何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

厳冬の二月五日の日曜日に稲川先生のお葬式に参列した際、お世話になった各先生方のお姿が拝見したのに、長瀬先生のお姿が見えないのでどうなされたのかなあと同級生と話し合っているうちに、後からみえた青木さんが「昨年より寝てみえるぞうぞう」と言われるので、同期生が食事をして小憩談の後、ヤドヤと例の調子で先生宅におしかけた。

昨年の十一月末に肺炎にかかり、以来ずっと臥して居られるが、もう肺炎も治り冬の寒気を避けて静養してみえようとのことと安心し、先生の枕もとで奥様と暫く話をした。先生は我々の話を笑って聞いて居られる。お顔の色艶も良く、やや手首の辺が細くなられたかなと思ふ程度春の学会には既に出席の通知をなさったとのこと「暖くなったらまた走り廻っていただけですなあ、寒い間ゆっくり休んで下さい」と言いながらおいとまをしたのであった。

それから春の訪れを待つことしばし、先生が入院されたとのこと。そして三月七日には輸血の必要あり、血液型はA、保存血では駄目とのこと、大先輩や大学関係同窓生のご努力で献血者リストも出来上り万全の態勢がとられる。私の職場では少し前に集団献血をしたばかりですが、探るわけにはいかない。当日出張とか都合が悪く採血しなかつた連中を探すと、幸いに十一回の今井正之君が居て、彼の他に他学出身であるが同じ技術系の若い人三人申し出てくれ早速病院へ。輸血を受けて居る先生は一月前には比べると顔色が冴えず大分元氣もない様子だったが、今日から始まる輸血が必ず元氣になれること、思い、「頑張ってください、また来ます」と言ってお別れしたのでしたが、その後少しずつ快方に向って居られるとのこと、輸血も保存血で少しずつやってみえるとのことであった。

## 人情味溢れる親仁さん

—長瀬重蔵先生を偲んで—

大1 福田 映

論の実験に就ても何も言わず、何時までもそのまま思ふ様にやらせてもらつたし、何か判らなことがあり質問すると、実に丁寧にこちらが途中で逃げ出しなくなる程資料もたくさん揃えて下さる、というやり方でした。卒業間近になつて就職のお世話も大変だつたようです。今と違つて一月から三月のはじめ迄の二ヶ月間に殆どの卒業生を日だつたように覚えています。

卒業後も、学校の先生の部屋や夜お宅へお邪魔して仕事のこの挨拶に廻つて居る矢先、四月二十六日夜、出張先の長野で訃報に接したのでした。思えばこの四分の一世紀余、先生との縁は一かたならず、園芸利用学講義から始まり農産製造実習と、人並みの師弟の間、柄から先生のゼミに入り同期生五人でお世話になり、いろいろご指導を受けたり、エスケープを入れたお茶を盛んにおっしゃつてみましたが、現在ではこれが紅茶・緑茶・麦茶等のティーバッグとして出廻つて居ります。その当時は水に強く浸出性のよい紙を……と言つて探してみえたことを思い出します。私共が先生を初めてお見かけしてから一向にお年をとられることのないかの如く何時もお元氣で、各私大への講義・各学会への出席・旅行(国内外を問わず)等誠に精力的に動かれ、その都度の記録を克明にメモされ、よく整理して居られました。お年を召されて益々博学になられ、とていつて行けない様な感じでした。いつ迄か先生は先生だなんだと思つて居ました。でも先生は見た目には取つきにくい方のように思ふが、実際には人情味溢れる先生に親仁さんでした。卒業生の再就職の世話なんかでも本当に一生懸命になつてみえました。仲間役もずいぶん沢山なさいました。卒業生の中でも今書いた様なお世話になつた人は随分の数になつて居ます。先生は亡くなられましたが、一般に言う者じゃなく、実際に体でたしかめて自分のものにする先生の教えは、何時迄も受継がれてゆく事と思ひます。又、先生もあたたかい眼差しで何時迄も見守つて下さる様、お願いして掲載致します。



人間とは何なのか。人間として生きるとは、どういふことなのか。健康な生というものがあれば、それはどんなあり方なのか。これが、ものごころつきはじめからこの世に、私の一貫したモチーフであった。古ぼけた自転車の荷台に本をくりつけ、海岸の松林に赴いては、読みを思案した。農学部学生時代に始めたこの探求は、今もなお、尽きることのない新たな疑問を生みながら続いている。あれから二十年近い歳月が流れ、いつしか中年に属する身となつてしまった。いろいろなことがあつたが、今、私の心に一番強く去来していることを記してみたいと思う。

### 総説

## 労苦を甘受することのなかに

大10 下 孝 一

「人間の死を表現する」と述べている。(人間・その顔(みずす書房))。これも人間の存在レベルの多様性を証す一つである。人は、三十才を過ぎれば、自分の顔に責任を負う、といわれるのも、このことに関わる。

存在様式が多様な可能性は、二つのことを内包している。一つは、我々は、いつも、現状のなかで、いかなる実存レベルを実現するか、その意志選択をせまられており、それゆえ、二つには、レベル選択にさいしては、そのような至高のレベル価値判断をまぬがれることはできないという点である。つまり人間の生を健全に全うするうえ、根本的な命題となる。

人生における諸価値のなかで「態度価値」の重要性を私に初めて教えてくれたのは、フランクル(死と愛(みずす書房))であったが、その後、イエスははじめ、数多の先哲が教えているのは、ほかでもない、このこととされたのだと、今にして思うのである。

態度は、人間の行為の表徴である。M・ピカトは「動物の死顔はのっぺらぼうであるが、ひとりの人間のみは、人によりさまざまに現れるのは、苦難に直面するときにである。フランクルは、(一夜と霧(みずす書房))のなかで、ナチスドイツの Auschwitz イツ強制収容所において、一人の神父が、これを与えれば自分が餓死することを覚悟しなげればならない極限状況のなかで、病んで苦しんでいる同僚の一人に、己がパンをすすんで与えたのなかで、いかなる態度の、至高のレベルの存在することを、そのレベルの存在することを、その価値判断をまぬがれることはできないという点である。つまり人間の生を健全に全うするうえ、根本的な命題となる。

態度(志向)の質である。より高貴なレベルは、人の心を打つ。それは理屈ではない。人間の本性として、人間の本質的な機能の一つとして、内在しているからである。これは、人間のみに許された存在の様式である。

感動とは、万人に内在する、この高貴なる機能充足の表徴であり、感動体験の豊富さのなかにこそ、人生の充実の本義があるのではないか。その感動をよびおこす最大の契機は、苦難である。苦難との闘いのなかで、人間の高貴な可能性はたゞめられる貴重な存在であります。

至高の実存レベルへの表現の契機が与えられるのである。それゆえ、苦難からの逃避・回避は生の高貴なる表現の進歩は現代の物質文明の進歩は多分の便益をもたらす、それ自体は、かけがえのない価値ではあるが、一方、大きな陥穽となつて、われわれのまえに、立ちかかっていることに、留意する必要がある。

苦難からの解放もしくは回避を、即幸福と思ひこむことには、即幸福と思ひこむことには、無感動と倦怠へと向かう、人間性貧困が、イエスの、われわれに対する最大の愛の表現でなくてはならない。

苦難を担うことに、生の本質があるとの確信は、この宇宙および自然界が何によって成り、何によって、存立しているかに思いをはせるとき、一層、私の心に強固なものとなる。紙面も尽きた。結論的にいへば、この宇宙をささえ、存立せしめている本質は、「己れを死すこと」によって、他を生かす」この構図ではないか。これは、しばしばひきあいにだされる食物連鎖のなかにのみあるのではない、家庭で子供に対するときも、学校で学生のまえにたつときも、いつ、いかなるときにも、この構図は、先見的に存在している。そして、他のために、己が今を捧げる、そのような愛においてのみ、われわれの生は、充たされ、成就し、そして世は、存立しつづけてゆくのであろう。

願わくば、一回的なこの人生を、狭隘な、己が恣意追求を、幸福と勘違いする迷途に陥ることのできるだけ少なく、与う限り多くの時間を、己れを捧げ死ぬ営為において、全うしてゆくことが出来ますことを。



(湖北短期大学勤務)

### 研究室近況

## 農芸化学切つての

### 若手研究室

#### 栄養化学畜産物利用学研究室

当研究室では、昨春石川先生が定年退職された後、後任教授として、今春生物化学研究室より、高橋孝雄先生(大学六回卒)、三翠化学会副会長)をお迎えしました。高橋先生は、レクチンを中心とした種子蛋白質に関し、数多くの業績を積み、更に核酸関係、医学関係と、幅広い分野で活躍しておられます。今後は、更に生化学的手法を導入した栄養化学に意欲を燃やしておられます。

本年度は、四名の専攻生と一名の研究生がおりますが、音楽に趣味をもつものが多く、なかには楽器をとらせると、プロ級の演奏を披露するものもいて、

最後に、現在行なわれている研究を簡単に紹介いたします。まず高橋先生を中心として、トコトリンの蛋白質化学的研究と卵白アルブミンに関する研究が展開されており、いろいろの知見が得られております。つぎに古市を中心とする加水分解酵素の臓器特異性及び、種類による酵素の蛋白質化学的差異について研究が行なわれています。

52昭和 年度 県文学賞(川柳部門)を受賞

奥野誠二氏(大三回卒)

醒めた瞳と踊らうとせぬハムエック

追い越しを無言でかける青い魚

父よりも鬼は淋しく石を積み採点にこだわる光る鉛筆よ

児の仰ぐその樹はホブラだと教え

奥野誠二氏(大三回卒)

氏の温厚な人柄がうかがわれ作品です。

同好の士があらましたら御連絡をとって、三翠化学川柳の会を結成されたらいかですか。

また、その他にこの様なトピックがありましたら是非投稿して頂きたいと思っております。

(嶋田 協)

なほ、当研究室は一号館一階に位置しております。近くへお

昭和五十三年八月(古市)

クラス会だより

30・25・20—盛大な各周年記念

名乗られるまで見わけられず 専一回卒

去る六月十日(土)、十一日(日)の両日にわたって、志摩のホテル第三賢島で卒業三十年目を記念してクラス会を開いた。私共のクラスは毎年クラス会をやっているが、今回は三十年目で一つ盛大にということ、粥見・渡辺両幹事の事前連絡よろしきを得て、四十一名中二十一名の出席をみたことは、在津者にとつてまさに「感激」であり、出席者の一名として両幹事の並々ならぬ熱意と努力に心から敬意を表しかつ感謝する次第である。十日は土曜日のためか開催予定の午後六時を待ちきれず、午後三時頃から三々五々会場に集合、直ちに宿泊の部屋割りをした後、入浴・雑談を交しながらメンバーの集まってくるのを待っていた。誰か氏は出席席」という心の準備があるにもかかわらず、名乗られるまで皆目見当がつかず、別のグループのメンバーが迷い込んで来たのではないかとさえ思った位であった。駅頭であれば、すれ違つても完全に気付かないであろう。卒業以来、初めてクラス会に出席とあらは無理がないとしても、三十年という歳月の長さを改めて認識した次第である。

翌日、揃つて総会へ 大六回卒

昭和三十三年に卒業しましたクラス会をもつことになり、翌日の、今回のクラス会は卒業二十周年目を記念したものでした。従つて日程を決めてから当日まであまり期間がありませんでしたが、クラスの三分の二行ない、卒業生十八名(写真中には十七名であるが一名・西川善通君は早退のために撮つていない)が参加し盛況でした。三翠化学会の総会が名古屋で開催に行つたらとの意見も出ていされたので、その前日にクラス会をもちつことになり、翌日(日)の両日にわたって、志摩のホテル第三賢島で卒業三十年目を記念してクラス会を開いた。私共のクラスは毎年クラス会をやっているが、今回は三十年目で一つ盛大にということ、粥見・渡辺両幹事の事前連絡よろしきを得て、四十一名中二十一名の出席をみたことは、在津者にとつてまさに「感激」であり、出席者の一名として両幹事の並々ならぬ熱意と努力に心から敬意を表しかつ感謝する次第である。十日は土曜日のためか開催予定の午後六時を待ちきれず、午後三時頃から三々五々会場に集合、直ちに宿泊の部屋割りをした後、入浴・雑談を交しながらメンバーの集まってくるのを待っていた。誰か氏は出席席」という心の準備があるにもかかわらず、名乗られるまで皆目見当がつかず、別のグループのメンバーが迷い込んで来たのではないかとさえ思った位であった。駅頭であれば、すれ違つても完全に気付かないであろう。卒業以来、初めてクラス会に出席とあらは無理がないとしても、三十年という歳月の長さを改めて認識した次第である。



大六回生クラス会・ダイゴにて







カナダにおける研究生活

日本の肥料事情を紹介

大十八回卒 山本 茂樹

人事院の行政官短期在外研究員として、五十二年九月から約半年間、カナダにおいて肥料をテーマに研究をし、この三月に帰国したので、感想などを肩の点もあつて英語で書くよう勧められた。

日本語が面倒に...

語学の方は行ってから勉強しているひまはなく、すぐ人を訪問したりして実地に使わねばならないので、かなりの力をつけておく必要があつた。十年以上も前に英検の二級に合格していたが、その後も自分で練習を続けて来たのが役に立った。しかし、私の場合、フランス語は全然知らなかったが、カナダではフランス系の人もかなりいるため、少くともあいさつぐらいは勉強しておいた方がよかつた。特に、東部のケベック州ではフランス系の人が多いので、英語は街中では通じなかつた。

私の場合、小さい子供が二人もいることもあって単身で出掛けたが、これが英語力をみがくのに非常に役立った。又、自由きままに行動ができた。昼も夜も英語を話している、やがて英語でものごとを考へるようになった。二カ月ぐらひ経ったころには英語で夢を見るようになった。日本語は手紙を読み書きする事と、一月に一、二回日本人の知り合いに会うくらいだったので、最後のころには日本語を書くのが面倒になり、役所に帰ってから日本語の報告書を書くのが苦痛だった。

リースの車で各機関を訪問

また生活の面では、大学の留学生用の宿舎を申し込んだが満員のため、いわゆるO.E.D.(共学)の宿舎に入るはめとなり、個室ではあつたが女学生と隣り合わせであつたりしてかなり悩まされた。カナダでは、大学の寮は半ば以上がO.E.Dとなつていて、門限などというものはない。全く自由な生活を楽しんでいる。学生達とは年令の差もあり、彼等の生活に完全に溶け込むには到らなかつたが、話し合いを通じてカナダ人の考え方や生活がだんだんとよくわかって来て、また語学の訓練にもなつて、その後の訪問旅行にプラスとなつた。

大学では講義は五教科聴講したが、最初のうちはそれだけでも予習や復習のために余裕がなかつた。やがて余裕がでるにつれて近辺の機関(ほとんどがトロント市)を訪問し始めた。そのためにはどうしても車が必要になつたので車をリースした。保険を含めて月五万円ほどかかつたが、週末のドライブや買い物にも役に立った。ガソリンが日本半値であり、道も広くて運転は全く楽であつた。とにかく

たぐひの食事も、また大学の屋敷も日本と比べると量が少なく、最初は彼等と同量食べていたため食はずきで、一月ほど腹の調子をくずした。その後パンや食後のケーキはあめ、スープと主食(肉と野菜)だけにしたが、これでちょうど私は十分であつた。

十二月の中旬には主都オタワに戻り、農務省の一室をベースとして、農務省や通産省、その他の機関を訪ね、肥料関係の情報を集めた。カナダの政府では、大きい建物の割に小人数の役人が働いているので、ほとんど個室又は二人部屋があつてはいた。私も二人部屋をあつ

たが、四時半には全員帰つてしまふ。我々が恒常的な残業をやつていて、感心しているのか、とにかく驚かされた。また、前述のように夏休みやクリスマスは長くとり、その間海外旅行をしたりして優雅に過ごしている。

昭和五十三年度までの会費を未納の方は是非とも至急納入戴きます。また会費納入状況を記入したカードを同封致しましたので御確認下さい。会費納入は振替番号 名古屋 59345

原稿をお寄せ下さい。残暑お見舞い申し上げます。本日ここに会報第九号をお送り致しました。次号(第十号)は五十四年一月に発行を予定しております。つきましては原稿をお寄せ下さいませようお願いします。

「総説」(大学(農専)時代の思い出)「今私は...」(社会人一年生)「職場紹介」(クラス会だより)その他詩歌、俳句、随筆など何なりと結構です。ご寄稿をお待ち致します。

お知らせ... 田中先生が転居されました。田中庄助先生御夫妻は、今年九月末に長年住み慣れた津の町を去り、東京に居を移されました。最近にお住まいの方は御訪問下さり、最近はお知らせのほどです。新居は、千代田区都立黒区桶の木坂一、二七の二八 朝日が丘ハイイツ

今わたくしは...

高橋一郎

大1 生きていくこと、二十五年目に合ったクラスの友におのれ一番最初の感動であつた。二十五年目に会った友は十四、五名で約半数、場所は大山の名糖保養所、腹の出たもの、頭の光っているもの、うすくなつていくもの、白くなつたもの、それぞれ二十五年間生きてきた証であつた。仕事のなやみ、部下のこと、家のこと、など楽しく時間を忘れて話した。話を聞きながら食べるものも少なくなつた。昭和二十四年の寮の生活が走馬灯のように浮んで来た。入寮の夜、中野と二人で農場へイモのアタックにいそぎ翌日先輩にみづかり油をいじられた。あのイモの味は今日この肉よりうまい。そして冬、マドソンをまつて守衛の前に放しついでん叱られた。あの時代やはり三重高農の伝統がのこり、野蠻な金がないくても楽しく充実していた。あの時代の歌に岩田先生の三重アララギ会が一等に入つたものだ

御交際頂いた皆様方の温かい御支援に支えられ今日に至っております。専門分野は包装産業関連の技術開発、品質管理及び中小企業の主として生産、技術診断であります。

二十五年度のサラリーマン生活は一貫して包装関係の仕事に従事してまいりましたので、今後とも「この途かき生きる途なし」の感であります。同窓の方々の多くは食品関連の仕事に従事されておられることとおもいますが、従来はメーカーの立場を離れることが出来なかつたので、現在は自由な立場であり、包装の本来の在るべき姿を率直に判断することが出来ますので、皆様方の仕事にお役に頂ければ幸いなことと考えております。

「ハイ、保健所生活環境課です」「家の前の側溝にボウフラがいっぱいいる。葉を散布してほしい。」「○○さん宅の尿浄化槽から汚物が流出している。床屋を開店したいが、届け出は?」「四階の社宅に住んでいるが毎朝赤い水が出てくる。なぜか?」「ヤア力が多い!」e.t.c. 朝九時

朝八時四十分から夕方五時、本日にここに会報第九号をお送り致しました。次号(第十号)は五十四年一月に発行を予定しております。つきましては原稿をお寄せ下さいませようお願いします。

「総説」(大学(農専)時代の思い出)「今私は...」(社会人一年生)「職場紹介」(クラス会だより)その他詩歌、俳句、随筆など何なりと結構です。ご寄稿をお待ち致します。

お知らせ... 田中先生が転居されました。田中庄助先生御夫妻は、今年九月末に長年住み慣れた津の町を去り、東京に居を移されました。最近にお住まいの方は御訪問下さり、最近はお知らせのほどです。新居は、千代田区都立黒区桶の木坂一、二七の二八 朝日が丘ハイイツ

浜口啓一

二十五年度にわたるサラリーマン生活を振り返り、総合的に問題を解決することの出来る体制にありたいので、どんな問題の提起をして頂きますようお願い致します。

内外ともに多難な経済情勢下を生き抜いてゆくことは企業にとつて大へんな智慧と努力を必要とします。生き抜くため

「ハイ、保健所生活環境課です」「家の前の側溝にボウフラがいっぱいいる。葉を散布してほしい。」「○○さん宅の尿浄化槽から汚物が流出している。床屋を開店したいが、届け出は?」「四階の社宅に住んでいるが毎朝赤い水が出てくる。なぜか?」「ヤア力が多い!」e.t.c. 朝九時

「ハイ、保健所生活環境課です」「家の前の側溝にボウフラがいっぱいいる。葉を散布してほしい。」「○○さん宅の尿浄化槽から汚物が流出している。床屋を開店したいが、届け出は?」「四階の社宅に住んでいるが毎朝赤い水が出てくる。なぜか?」「ヤア力が多い!」e.t.c. 朝九時

「ハイ、保健所生活環境課です」「家の前の側溝にボウフラがいっぱいいる。葉を散布してほしい。」「○○さん宅の尿浄化槽から汚物が流出している。床屋を開店したいが、届け出は?」「四階の社宅に住んでいるが毎朝赤い水が出てくる。なぜか?」「ヤア力が多い!」e.t.c. 朝九時

「ハイ、保健所生活環境課です」「家の前の側溝にボウフラがいっぱいいる。葉を散布してほしい。」「○○さん宅の尿浄化槽から汚物が流出している。床屋を開店したいが、届け出は?」「四階の社宅に住んでいるが毎朝赤い水が出てくる。なぜか?」「ヤア力が多い!」e.t.c. 朝九時

「ハイ、保健所生活環境課です」「家の前の側溝にボウフラがいっぱいいる。葉を散布してほしい。」「○○さん宅の尿浄化槽から汚物が流出している。床屋を開店したいが、届け出は?」「四階の社宅に住んでいるが毎朝赤い水が出てくる。なぜか?」「ヤア力が多い!」e.t.c. 朝九時

ゴルフコンペ

明年の総会の前日又は翌日あるいはその他都合のよい時期に同好の志によるゴルフコンペを行つたらとの声があります。如何でしょうか?ご意見がありましたら、一四津市南新町15-18渡辺和己までお寄せ下さい。